

「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表 (事業実施状況表)

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H28実績	担当課
1 県民等の 防犯意識の 高揚	(1)自主的な防犯環境整備の推進	身近な防犯環境の整備	○ボランティア団体と警察の協働パトロール、通学路の点検、地域安全マップ作成を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯灯、防犯カメラの設置促進	○警察予算による街頭防犯カメラの設置 ○JA共済連から県防犯連合会に街頭防犯カメラ100台の寄贈を受け、県内各地に設置 ○自治体、企業等に対し、街頭防犯カメラの設置の働きかけを実施	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2)各種媒体を活用した広報啓発	各種広報媒体を活用した県民への意識啓発	○民放テレビ局の情報番組やテレビ・ラジオのスポットCMのほか、ホームページ、新聞広告、ポスター等を活用した犯罪被害防止広報を実施 ○しまね安全安心ネットメール、みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッター等により県民に対し、各種防犯情報を提供 ○交番広報紙等により、各種防犯情報を提供	環境生活総務課 生活安全企画課
		啓発ポスターの募集や表彰	○山陰中央新報社と犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクールを主催 ○ポスターを小・中学校・高校等に募集、優秀作品の審査・表彰及び作品を活用した広報を実施 ○各警察署において小中高校等に対する募集活動を実施 ○10月8日、松江市で開催した「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」において最優秀賞等の表彰を実施	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
		犯罪は最大の人権侵害であることについての広報啓発	○「しまね人権フェスティバル2016」における啓発展示(出展:環境生活総務課)(10月16日、大田市、参加者約750人)	人権同和对策課
	(3)まちづくり旬間における広報・啓発	「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の浸透化と定着化	○旬間開始街頭キャンペーン(10月11日、松江駅) ○犯罪のない安全で安心なまちづくり大会(10月8日、松江市) ○各種媒体を活用した「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の広報を実施	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
	(4)地域安全情報の提供	重層的防犯ネットワーク等を活用した安全安心情報等の迅速な提供	○金融機関、配送事業者、コンビニエンスストア宛での振り込めメールネット等特殊詐欺発生時に情報提供をして水際対策の強化を図った。 ○民生児童委員、公民館、老人クラブ連合会へ「防犯テキスト」等を配布し、防犯意識の啓発に活用を依頼	生活安全企画課
		多様な広報媒体を通じて犯罪情勢や防犯対策等の情報の広域的な提供	○テレビや新聞等を活用し、特殊詐欺をはじめ各種犯罪被害防止等を目的とした情報提供を実施 ○「くらしの情報」の発行、「だまされんゾウくんツイッター」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等の情報をタイムリーに発信 ○みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッターを利用しタイムリーかつ広域的な情報提供を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
		「みこびー安全メール」や「不審者情報マップ」による犯罪情勢等の迅速な提供と加入者の促進	○みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッターにより、タイムリーな情報を提供するとともに、島根県警察ホームページでの登録呼びかけや、学校、各種防犯講習会において周知活動を実施するなど、登録者の拡大を推進(メール登録者8,874人/H28.12末) ○島根県警察ホームページに「不審者情報マップ」を掲出し、随時更新を行った。	生活安全企画課 少年女性対策課
		県内の通話エリア拡大の促進	○市町村が実施する携帯電話の不感地域を解消するための移動通信用鉄塔整備を支援(国庫補助事業) ・実施地域11地区(事業費216,177千円) ※H27年度からの繰越分を含む	情報政策課
		専門家等による講演会等の開催	○犯罪のない安全で安心なまちづくり大会(10月8日、松江市)を開催し、立正大学小宮信夫教授を招き「子どもと地域の安全をどう守るか」と題し講演会を開催 ○地域防犯ボランティア交流会(10月14日、浜田市)を開催し、北陸大学山本啓一教授を招き「子どもを犯罪から守る防犯活動とまちづくり」と題し講演会を開催 ○「島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部連絡会議」を開催し、特殊詐欺被害防止伝導大使及び県警本部特殊詐欺捜査室長による特殊詐欺捜査の現状について講演会を開催(H28.10)	環境生活総務課 生活安全企画課

「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表 (事業実施状況表)

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H28実績	担当課
		安全安心アドバイザーや防犯設備士による研修会等の開催	○防犯に関する知識を有する「安全安心アドバイザー(6名)」や防犯設備士の資格を有する警察職員(14名)が各地区で開催される防犯教室や講習会等で指導を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
	(6) 鍵かけ運動の広報・啓発	広報媒体を活用した啓発と駐輪場等での注意喚起による鍵かけの普及促進	○防犯ボランティア等との協働により、駅や学校の駐輪場における防犯診断及び大型スーパー等における啓発活動を実施 ○4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠の活用や街頭での広報啓発活動を行い鍵かけ普及活動を推進 ○出雲市出身の女流棋士里見咲紀を起用したポスター等を作成・配布	環境生活総務課 生活安全企画課
		自動車盗や車上ねらいの自動車関連犯罪の被害防止	○4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠を活用して鍵かけ普及活動を推進 ○ボランティアとともに駐車場等での鍵かけ点検を実施 ○駐車場管理者に対して防犯カメラ、センサーライト等の設置促進を啓発	生活安全企画課
	(7) 県民等の意識調査・研究	安全安心まちづくりに関する意識・実態調査	○しまねwebモニターにより「安全安心まちづくり」に関するアンケート調査を実施	環境生活総務課 生活安全企画課

「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H28実績	担当課
2 地域での自主的な活動、連帯意識向上の推進	(1) 防犯ボランティア団体への支援	自主防犯活動の継続・活性化支援	○地域防犯ボランティア交流会(10月14日、浜田市)を開催し、北陸大学山本啓一教授を招き「子どもを犯罪から守る防犯活動とまちづくり」と題し講演会を開催、防犯活動団体リーダーによる事例発表、意見交換等を実施 ○各地区のボランティアリーダーによる「島根県地域安全推進員連絡協議会総会」を開催し、防犯活動の継続・活性化について情報交換と研修を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯リーダーの育成支援	○中四国防犯ボランティアフォーラムにおいてボランティア団体が活動内容を発表するとともに、防犯ボランティアを参加させ、防犯リーダーを育成	環境生活総務課 生活安全企画課
		地域活動団体に対する支援	○各地域の防犯ボランティアに対して青色回転灯などの防犯活動を行うための物品を貸与 ○自主防犯活動を活性化させるため、みこびー安全メール等により、安全安心情報等を継続的に発信 ○地域安全推進員及び青色防犯パトロール隊員のボランティア保険への加入	生活安全企画課
		「しまね防犯ネットワーク」への登録呼びかけ等	○県ホームページにおいて登録呼びかけを実施 ○子ども・女性みまもり運動実施事業所を継続募集し、郵便事業者から新規応募があるなど活動を活性化	環境生活総務課
		優良活動団体に対する表彰	○優良な活動を3年以上継続して実施している防犯ボランティア団体や事業所について、各市町村・警察署から推薦を受けた6団体に「犯罪のない安全で安心なまちづくり賞」を授与(2月)	環境生活総務課
	(2) 地域ネットワークづくり	住民の交流活動の促進	○青少年育成島根県民会議と連携して「しまね家庭の日」、「『しまニコ!』県民運動」の普及・啓発活動を推進するとともに、子ども若者チャレンジ事業により3団体に活動の補助を行った。 ○公民館を核として、「公民館ふるさと教育推進事業」「公民館ふるまい推進事業」「地域課題型公民館支援事業」を実施し、多世代にわたり地域住民が関わり合いながら活気ある地域づくりを進める取組を図った。 ○公民館ふるさと教育推進事業 ・実施公民館等 28館 ・事業費 5,600千円 ○公民館ふるまい推進事業 ・実施公民館等 40館 ・事業費 1,690千円 ・参加者数 約5,600人 ○地域課題型公民館支援事業 ・実施地区等 25地区 ・事業費 16,358千円 ○「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」における教育推進活動に地域住民や児童生徒の保護者、学生など地域全体で活動に参画・協力することにより住民同士の交流活動の推進を図った。 ○スポーツ参加活動において2,253回の活動に延べ44,184人の少年が参加(H28.4~12) ○社会参加活動において193回の活動に延べ3,255人の少年が参加(H28.4~12)	青少年家庭課 社会教育課 少年女性対策課
		住民の連帯意識の向上	○地域防犯ボランティア交流会(10月14日、浜田市)を開催し、地元自治体等で活動する防犯ボランティアリーダーによる事例発表等を行い、ボランティア間の連帯意識高揚、活動意欲の増進を図った。	環境生活総務課 生活安全企画課
	(3) 事業者の自主的な活動の推進	事業者による子どもや女性の安全確保	○県内の事業者に対して「子ども110番の家」、「子ども・女性みまもり運動」への参加を働きかけ、郵便事業者等から新規応募があるなど、「子ども・女性みまもり運動参加事業者」が1344事業者(H29.3)に増加	環境生活総務課 生活安全企画課
		事業者による効果的な防犯活動の推進	○金融機関や小売店等の事業者に対し、防犯対策についての講習の実施及び犯罪情報の提供 ○(株)FM山陰による「防犯キャンペーン」(新小学1年生に対する防犯ブザーの贈呈等)及び山陰中央新報社等による「黄色い手帳運動」(ボランティア団体に対する青色回転灯の贈呈等)を後援し、指導、助言を実施	生活安全企画課
		事業活動にあわせた自主的な活動	○防犯CSR活動の普及促進	生活安全企画課
(4) 高齢者の社会参加活動の推進	高齢者による安全安心まちづくり活動の促進	○老人クラブが行うボランティア活動などや高齢者大学校の運営に対する支援 3/4ページ	高齢者福祉課	

「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表 (事業実施状況表)

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H28実績	担当課
3 特殊詐欺を発生させない気運の醸成	(1)個別訪問等による被害防止広報・啓発	警察官等の戸別訪問活動時での直接的な被害防止広報	○高齢者に対する個別訪問により、最新の手口の紹介や被害防止対策等について直接的かつ具体的な注意喚起を実施 ○特殊詐欺被害防止コールセンターを設置(5月～H29.3月)し、電話による直接的な注意喚起を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2)各種媒体を活用した被害防止の広報・啓発の充実	各種広報媒体を活用した特殊詐欺被害発生状況、防止対策等の情報発信	○テレビ、新聞、ラジオ等に加え、みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッター、だまされないソウくんツイッター等を活用して、被害発生状況や被害防止対策に関する情報を発信し、被害防止のための広報啓発を実施	環境生活総務課 生活安全企画課
	(3)被害発生時の被害拡大防止のための迅速的確な情報提供	被害発生時の手口等の広域的な情報提供による被害拡大防止	○被害発生時はテレビ、新聞等各種広報媒体を活用し最新の手口等に関する早期情報提供を実施。 ○特殊詐欺の前兆電話認知時に、メール、ツイッター、告知放送を活用し早期に情報提供し、被害拡大防止のための注意喚起を実施	環境生活総務課 生活安全企画課 捜査第二課
	(4)出前講座、被害防止研修会等の充実	特殊詐欺に関する出前講座や被害防止研修会等の開催	○特殊詐欺被害防止等のための出前講座や研修会を開催し、県民の抵抗力を高め、被害発生の未然防止のための活動を実施 ○防犯教室等への参加呼びかけの推進 ○寸劇や歌を盛り込み親しみやすく、またクイズ等を用いた参加型の記憶に残る防犯教室の実施	環境生活総務課 生活安全企画課
	(5)金融機関等と連携した水際阻止対策の強化	チェックシートの確実な活用や声かけの徹底等による未然防止活動	○金融機関等に対する声かけ訓練を行い、チェックシートの活用方法等を確認するなど被害防止のための連携を強化 ○「振り込めメールネット」により、特殊詐欺に関する情報をタイムリーに発信し、水際阻止対策を強化 ○ボイスポリス、特殊詐欺被害防止ポップを活用したATMでの被害防止対策を推進 ○宅配業者に対し、宅配便等で現金送付する被害防止のための「現金は入っていま宣言」シールを継続配布し、窓口での声かけ強化	環境生活総務課 生活安全企画課